

ほう ねん いけ  
～豊 稔 池～



毎年夏に行われる「ゆる抜き」



洪水時の状況

観音寺市大野原町には、中世ヨーロッパの古城を彷彿させる「豊稔池（ほうねんいけ）」と呼ばれる農業用ため池があります。この町は、江戸時代の一六四三年から豪商平田一族によって開墾されてきた町です。この地は非常に水利が悪く、「井関池（いせきいけ）」をはじめとするため池を築くも、度重なる干ばつに大変悩まされてきました。そこで、大正十五年三月、柞田川の上流にある大野原町田野々の山間に、豊稔池が築造されました。

豊稔池は、複数のアーチ部を持つマルチプルアーチダムで、日本では唯一の石積み式のため池であります。他にも随所に構造的な工夫がなされており、当時はもちろん、現代においても高度で画期的なダムとして高く評価され、平成十八年には、国指定の重要文化財に認定されております。

毎年夏には、柞田川の下流にある井関池の貯水量が三〇％を切ると、豊稔池は「ゆる抜き」を行い、井関池の農業用水を補給します（図左上）。この「ゆる抜き」は本県の風物詩となっており、轟音とともにほとばしる水飛沫はその豪快さをもって、見る人を魅了しています。

また、豊稔池の上流に位置する田野々地区では、農業集落排水事業により汚水や排水の処理施設を整備するなど、地域内外の用排水の水質改善に取り組みしており、浄化された処理水が豊稔池に流れ込むこととなっております。さらに、豊稔池の貯水の水質改善を図るために、太陽光発電を利用した水生植物の栽培による水質浄化システム実証実験を行うなど、他地域に比べ、先駆的な取り組みが行われている地域でもあります。このように、豊稔池では、豊稔池土地改良区をはじめ、県や市町、地域住民が一体となり、快適な農村環境の創出に向けた取り組みが行われており、今後とも豊稔池の素晴らしさが後世に伝承されることを期待するものであります。

（香川県西讃土地改良事務所）